

大学病院薬剤部で
高校生が仕事見学

20校から106人

大分大学病院薬剤部（伊
東弘樹教授）は9日、由布
市挾間町の同病院で高校生

を対象に薬剤師や創薬の仕
事、役割を紹介する見学会
を開いた。県内20校から1
06人が参加した。

伊東教授が薬学部卒業後
の進路として薬剤師や創薬
の研究者、行政に携わる公
務員などを紹介。「医療現
場の一員として、日本の将
来を支える大切な役割があ
る」と説明した。参加者は

調剤室や製剤室、服薬指導
室などを見学。薬を調合す
る現場を見たり、糖尿病患
者が使用するインスリン注
射の仕方を学ぶ模擬練習な
どをした。

高田高校（豊後高田市）

2年の橋詰満衣さん（17）は
「具体的に仕事内容が分か
って勉強になった。将来に
ついてはまだ決まっていな
いが、薬剤師の仕事にも興
味が出た」と話した。